

平成30年2月20日（火）14時00分～16時00分

枚方市役所 別館4階 第3・4会議室

構 成 団 体	(欠席) 枚方市民生委員児童委員協議会	地縁組織 (地域活動団体)
	枚方市老人クラブ連合会	
	枚方市コミュニティ連絡協議会	
	(欠席) 枚方市校区福祉委員会協議会	
	シルバー人材センター	中間支援組織
	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ 枚方拠点	NPO
	大阪高齢者生活協同組合	ボランティア団体
	枚方市介護支援専門員連絡協議会	職能団体 社会福祉法人
	枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会	
	(欠席) 枚方市特別養護老人ホーム施設長会	
	枚方市デイサービス連絡協議会	
	枚方市訪問介護事業者会	社会福祉協議会
	枚方市社会福祉協議会	
案 件 名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会議予防・生活支援サービス事業の規則等改定について 2. 一般介護予防事業の内容変更について 3. 元気づくり・地域づくりプロジェクトの業務委託の仕様について 	
協 議 事 項	案件1、2、3について事務局から報告 質疑応答、意見交換	
事 務 局	枚方市 長寿社会部 地域包括ケア推進課 枚方市高齢者サポートセンター（地域包括支援センター）	

発 言 者	内 容
<p>司会 (地域包括ケア推進課)</p>	<p>それでは定刻となりましたので、平成29年度第3回第1層協議体を開催いたします。 本日はご多用のなか、本会議にご出席くださりまして誠にありがとうございます。</p>
<p>案件1 介護予防・生活支援サービス事業の規則等改定について</p>	
<p>司会 (地域包括ケア推進課)</p>	<p>介護保険制度は、その創設から16年が経ち、サービス利用者は制度創設時の3倍を超え、500万人に達している状況です。介護保険制度を取り巻く状況が大きく変化している中で、団塊世代が75歳以上となる2025年や、団塊ジュニア世代が65歳以上となり、高齢者数がピークを迎える2040年も見据えつつ、引き続き、自立した日常生活を営むことができるよう支援することや、要介護状態等となることの予防、要介護状態等の軽減・悪化の防止といった制度の理念を守り、質が高く必要なサービスを提供していくと同時に、財源と人材とをより重点的・効率的に活用する仕組みを構築することにより、制度の持続可能性を確保していくことが重要となります。</p> <p>今回の介護保険制度改正では、これまでの制度改正等において取り組んできた「地域包括ケアシステムの推進」と「介護保険制度の持続可能性の確保」について、推進していく観点から必要な見直しが行われたものです。</p> <p>そこで、世代間等の公平性を保ち、持続可能性の確保に向けて、自己負担の3割負担の導入、慢性的な医療や介護ニーズに対応するため新しい介護保険施設「介護医療院」の創設、介護保険と障害福祉の両制度に新しく「共生型サービス」が位置づけられます。</p> <p>また、介護報酬改定に伴い、介護予防・日常生活支援総合事業においても国から単価の見直しについて通知がありましたので、本市の事業内容についても見直しを行う予定です。</p> <p>それでは、「介護予防・生活支援サービス事業の規則等改定について」事務局から説明させていただきます。</p>
<p>事務局(地域包括ケア推進課)より説明</p>	<p>配付資料 資料1-1 から 資料1-3 介護予防・生活支援サービス事業の規則等改定について</p>
<p>司会 (地域包括ケア推進課)</p>	<p>ただいまの説明について、何かご意見・ご質問等ございますでしょうか。</p>
<p>枚方市社会福祉協議会</p>	<p>生活支援員の登録者数が135名ということですが、135名が具体的に実働されているのでしょうか。</p>
<p>地域包括ケア推進課</p>	<p>生活援助訪問事業者に登録している人数は135名ですが、そのうち実働している人数はさらに少なくなります。具体的な人数は、生活援助訪問事業者の現地指導の中で確認していき</p>

	ます。
枚方市社会福祉協議会	生活支援員の活動は、具体的にはどのような内容でしょうか。
大阪高齢者生活共同組合	掃除、買い物、調理などの家事の支援が主となっています。
ニッポン・アクティブ・クラブ 枚方拠点	当事業所には30人程度の利用者がいますが、8～9割は掃除です。買い物は若干あります。
シルバー人材センター	シルバー人材センターでは、利用者が出来る事は一緒にやってもらうようお願いしています。買い物は遠くの店の場合は代行しますが、近くの場合は出来るだけ一緒に行っています。掃除は、洗剤をかける所までは手伝ってもらうようお願いしています。
地域包括ケア推進課	ケアプランを見ている、かがむ動作が出来ないので掃除機がけや床掃除を支援するというのが一番多いと感じています。
枚方市介護支援専門員連絡協議会	生活支援員の登録者数が、養成研修受講者数の3割程度である理由は为什么呢。残りの7割の方をどのように活用するかは考えていますか。
地域包括ケア推進課	来年度から、研修を受けられた方には登録の有無にかかわらず、全員を対象としたフォローアップ研修の開催を考えています。登録者数が少ない理由について思い当たることがありますか。
ニッポン・アクティブ・クラブ 枚方拠点	ナルクが開催した生活支援員養成研修では、200人程度の方が受講されました。そのうち登録をさせていただいた方は30人前後です。登録していない方に平成29年4月に登録を促す電話をしたところ、断られる理由としては、就労している、他に用事があるという理由がほとんどでした。研修受講から期間が空いたために、就労や趣味など既に他の活動を始められたという理由が多いです。他にも、70歳前後の方が多いため、腰痛などの体調の面や、単車に乗れない等の交通手段のミスマッチがあります。 研修を受講されてからすぐに登録を促す電話をすると、登録してくれる方が多いため、数か月期間を空けてしまうと、既に他の活動をされていることが多いです。
枚方市老人クラブ連合会	私は生活支援員養成研修を受けましたが、必ず登録しないといけないと思っていました。そう思っている方が他にもたくさんいて受講をためらっていると思うので、それが解消されると良いと思います。 私が代表をしている老人会では、おたすけ隊を行っています。下手に家を訪問すると、あらぬ噂をたてられる等、トラブルになると聞いていたので研修を受けました。今までは気軽に訪問して電球を替えたりしていましたが、研修を受けてマナー、状況把握、その後の対応等を学ぶことが出来ました。この研修を受けておかないとトラブルを防げないと感じたので、受講して良かったと思います。 地域で活躍されている他の方からも、私と同じ意見を聞きます。関係性が出来た後も、トラブルを防ぐためにある程度のわきまえや言葉遣い、マナーを学ぶことが必要だと思います。良い研修だったので、他の場で活かすことが出来ればと思います。

大阪高齢者生活協同組合	<p>何人か登録者がいますが、地域に貢献したい、社会的な役割を持ちたいという意識の高い人が多いです。賃金を貰って働くという意識ではないので、報酬や活動の仕方に問題があります。枚方は広いので、地域で動けるような仕組みを作らなければいけないと感じます。1か所に事業所が集中すると厳しいと思います。今までの経験を踏まえて登録のしやすい仕組みづくりが必要です。受講者が2年目で減少しているので工夫をしていけたらと思います。</p>
訪問介護事業者会	<p>資料1-2に「研修修了者が就労だけでなく、サークル活動やボランティア活動など、様々な「人とつながる」支援を行うことを目的」とあるが、事業所への登録だけを目的としているのか、目的にサークル活動やボランティア活動も含めているのかどちらでしょうか。後者であれば、事業所への登録者数が伸び悩んでいるのは当然だと思います。</p>
地域包括ケア推進課	<p>生活支援員養成研修は、就労だけではなく、登録をしなくても地域活動の支援をすることが目的で、研修業務の業務委託仕様書にも明記しています。受講後にフォローアップで意見交換会を行ったり、自法人のサークル活動の紹介をしていただいています。就労はして頂きたいが、それが難しくても自身の活動のための知識を得る目的でぜひ受講していただきたいと考えています。</p> <p>地域の助け合いに関しては、マナーは必要ですが、きっちりとしたルールを入れ込んで事業化をせず、すぐに入り込めるフランクな関係性を保っていただきたいと思います。</p>
枚方市老人クラブ連合会	<p>ケースバイケースということですね。それは考えています。ただ、定期的な支援が必要な方は、関係機関に繋いだほうが良い場合もありますよね。</p>
地域包括ケア推進課	<p>そうですね。定期的な支援が必要であれば事業として支援し、「ちょっと電球を替える」程度の支援であれば地域の支えあいの体制が出来ていけばと思います。</p>
枚方市老人クラブ連合会	<p>困っている方はたくさんいるが、地域の方はまだまだ知識が少ないです。「研修を受けたいけれども、登録はしなければいけないのか。」という声をよく聞きました。</p>
地域包括ケア推進課	<p>生活支援員養成研修の内容は、介護職員初任者研修の科目を準用した基本的な内容で、研修を受けたからといってスキルが身に着くわけではないですが、ぜひ自身の活動に活かしてほしいです。</p>
司会 (地域包括ケア推進課)	<p>続きまして、本市独自事業である「リハ職訪問通所指導事業」は、事業の実施とあわせて、事業の拡充に向けてのパッケージ作成についても枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会に委託していました。</p> <p>事業の拡充に向けたパッケージ作成では、運営マニュアル等の作成だけでなく、運営事業者向けの研修で使用する動画と事業周知用の動画の作成を行っています。</p> <p>今回、運営事業者向けの研修で使用する動画の第1版ができあがりました。今後、事業の拡充に向けて運営事業者の選定等は、この第1層協議体で検討いただきたいと思います。</p> <p>リハ職訪問通所指導事業の事業内容を理解していただくためにも、まずは皆さまに少しお時間をいただいて動画を見ていただきたいと思います。</p> <p>(動画30分程度)</p>
司会	<p>事業のイメージが伝わりましたでしょうか。</p>

(地域包括ケア推進課)	「リハ職訪問通所指導事業」の運営を担っていただいている枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会に、現場の声として利用者や運営の状況等について簡単にご報告していただきます
枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会	<p>資料1-4</p> <p>資料1-4で紹介した事例は、地域の方が「早く戻っておいで」と声を掛けてくれていたのが、上手く地域に繋がった要因だと思います。今まで地域との繋がりが薄かった方は、リハ職訪問通所事業を卒業されてから、地域の中で役割を担って生活をするのが難しい場合があります。地域との連携や、地域で受け入れてもらいやすい受け皿づくりが課題だと感じています。</p>
司会（地域包括ケア推進課）	<p>ありがとうございます。</p> <p>ご意見等はございませんでしょうか。</p>
	意見なし
案件2 一般介護予防事業の内容変更について	
司会（地域包括ケア推進課）	<p>続きまして、「案件2. 一般介護予防事業の内容変更について」にうつりたいと思います。</p> <p>先ほどのリハ職訪問通所指導事業において、再び自分の生活を取り戻した方は、地域の中でそれぞれの生活を送っていくこととなりますが、サービスや介護予防事業を中心に考えるのではなく、ひとり一人の生活を中心として、どういった状態の時にどのようなサービスや介護予防教室があれば良いのか、どのような支援をすれば自分で、仲間と一緒に続けることができるのか、また、疾患の後遺症などがあっても地域の中で一緒に活動することができるようにするには、どのような支援や受け入れ体制を構築していく必要があるのか、事業の見直しを行いながら、より良い事業、より良い体制の構築に向けた取組みを進めていきたいと思っています。</p> <p>それでは、事務局から説明させていただきます。</p>
事務局（地域包括ケア推進課）	<p>配付資料</p> <p>資料2 一般介護予防事業の内容変更について</p>
15：25 事務局	ただいまの一般介護予防事業の内容変更やリハ職訪問通所指導事業について、何かご意見・ご質問等ございますでしょうか。
枚方市介護支援専門員連絡協議会	リハ職訪問通所指導事業の件です。市内で1箇所だとそこへ通えない方もいると思いますが、今後拡充の予定はありますか。
地域包括ケア推進課	今年度中に運営マニュアルや研修用の動画、運営スタッフ向け研修内容の確定を予定しています。

	<p>来年度は、商業施設と通所施設どちらに展開するのかということもみなさんと検討しながら拡充していきたいと思います。</p> <p>ただ現在のイオン枚方店には、実際に東部・南部から来られている方もいます。電車やバス一本という交通アクセスであれば、市内どこからでも通えるとは思いますが。</p>
案件3 元気づくり・地域づくりプロジェクトの業務委託の仕様について	
司会 (地域包括ケア推進課)	<p>続きまして、「案件3. 元気づくり・地域づくりプロジェクトの業務委託の仕様について」にうつりたいと思います。</p> <p>それでは、事務局から説明させていただきます。</p>
事務局（地域包括ケア推進課）	<p>配付資料</p> <p>資料3 元気づくり・地域づくりプロジェクトの業務委託の仕様について</p>
司会（地域包括ケア推進課）	<p>ただいまの「元気づくり・地域づくりプロジェクト」の業務委託の仕様について、何かご意見・ご質問等ございますでしょうか。また、今回の会議でまだ発言されていない方はぜひご意見、ご感想等をお願いいたします。</p>
枚方市デイサービス連絡協議会	<p>介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの中で、通所事業の事業者と教室型通所事業の事業者間の情報交換が出来ていないことが問題点です。サービス事業者の中で教室型通所事業者だけが、第1層協議体の構成メンバーに入っていないことに疑問を感じているので、次年度は検討いただければ幸いです。</p>
地域包括ケア推進課	<p>教室型通所事業は、実績が少なくうまく稼働しているとはまだ言えない状況ですが、意見交換が出来ればと考えていますので検討させていただきます。</p>
地域包括支援センター美郷会	<p>今まで要支援の方は、家事・買い物をヘルパーに依頼することが多かったので、今年度から生活支援員に依頼することが多くなりました。登録者が少ない、生活支援員さんの活動エリアが限られている、勤務時間が短い等で調整に時間が掛かるという課題はありますが、事業開始から特に問題なく経過しており、生活援助訪問事業は新しい担い手として十分に対応して頂いていると実感しています。</p>
地域包括ケア推進課	<p>生活支援員自身が、活動をすることによって社会と繋がる事が出来て嬉しいと言っていたと聞き、こちらもとても嬉しく思いました。さらなる事業展開が出来るよう、見直しをしながら運営していきたいと思います。</p>
司会（地域包括ケア推進課）	<p>まだまだ 皆様のお話をお伺いしたいところではございますが、そろそろお時間となりましたので、これで、平成29年度第3回第1層協議体を終了いたします。</p> <p>今回は、元気づくり・地域づくりプロジェクトの平成29年度後半期の取り組みをまとめて紹介したいと考えていますので、6月頃に開催したいと思います。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>